

※参考資料

NHK支援講座『公共放送を通して学ぶジャーナリズム論』について

概要 世界の公共放送におけるNHKの位置づけを確認し、テレビ・ジャーナリズムの諸問題点、番組制作の実情を理解し、技術的発展を続けるメディアとの主体的な関わり方を考察する。各部門で活躍する講師を迎えて、公共放送の意義、番組制作の実際等について考えていく。

日程 前期全15回、金曜日5時限(16:10~17:40)

内容

- 4月11日(金) 第1回オリエンテーション 本学教員
- 4月18日(金) 第2回公共放送概論①
「公共放送の成り立ちとこれから」 放送文化研究所
- 4月25日(金) 第3回公共放送概論②
「世界の放送~公共放送の変遷と比較~」 放送文化研究所
- 5月9日(金) 第4回ジャーナリズム論①
「ニュースの現場 ~報道最前線~」 横浜放送局
- 5月16日(金) 第5回ジャーナリズム論②
「報道取材と人権」 考査室
- 5月23日(金) 第6回放送研究「正しい日本語を伝える取り組み」 放送文化研究所
- 5月30日(金) 第7回番組制作論①
「NHKスペシャルはどう作られるか」 スペシャル番組センター
- 6月6日(金) 第8回番組制作論②「大河ドラマの舞台裏」 ドラマ部
- 6月13日(金) 第9回番組制作論③
「著作権と放送 現状と課題」 ライツ・アーカイブセンター
- 6月20日(金) 第10回番組制作論④「音響デザインの現場」 デザインセンター
- 6月27日(金) 第11回放送技術論「放送文化を支える技術の役割」 放送技術局
- 7月4日(金) 第12回メディア論①「NHKの世界発信への挑戦」 国際放送局
- 7月11日(金) 第13回メディア論②「放送と通信の連携サービス」 AOD推進室
- 7月18日(金) 第14回メディア論③「テレビとCG デジタルの今とこれから」 解説委員室
- 7月25日(金) まとめ「公共放送と社会貢献」 横浜放送局長

※各回の内容については、変更となる場合があります。

共通教養とは

学部(国際総合科学部・医学部)を問わず1年生全員が履修するカリキュラム。本学の目指すリベラルアーツ教育の根幹をなすもので、卒業時まで履修することができる。

問題提起科目群(総合講義、実践科目、多文化交流ゼミ)、技法の習得(教養ゼミ、語学、情報コミュニケーション科目)、専門との連携科目群(専門科学講義、共通広域科目)からなる。

各界の第一線で活躍するエキスパートを迎え、各学問領域を最新注目分野から俯瞰する総合講義A、海外を含めたフィールドワークや実習を行う実践科目など、従来の教養科目ではなく、実践的な教養教育を目指している。